

挑みつづける、変わらぬ意志で。



# 2025年度 新入社員意識調査 集計結果

2025年4月21日  
東京商工会議所  
人材・能力開発部

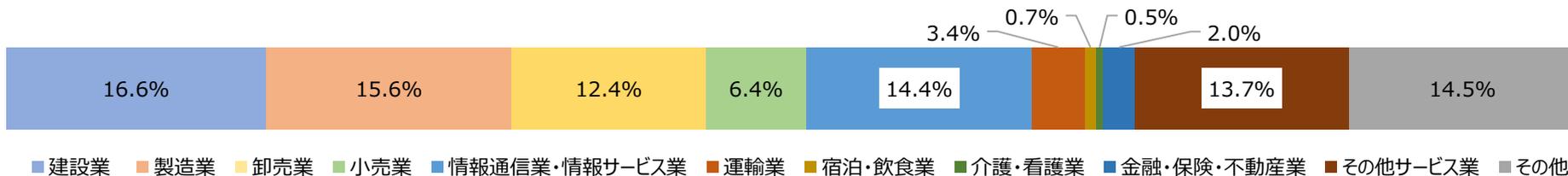
# 調査概要

- (1)目的：2025年度の新入社員を対象に、社会人生活や仕事に対する意識等を調査し把握することで、会員及び当所の事業運営の参考とするため。
- (2)調査期間：2025年4月1日～4月4日
- (3)調査方法：Webアンケートシステムを利用
- (4)調査対象：上記調査期間に当所(事務局:人材・能力開発部 研修センター)が実施した新入社員研修の受講者930名
- (5)回答数：857名(回答率：92.2%)
- (6)その他：・本調査結果では小数点第2位で四捨五入しているため、単一回答の質問では合計が100にならない場合がある。  
・⑧ページ、⑩ページに記載の「企業向け調査」とは、当所が実施した「企業の人材育成担当者による新入社員・若手社員・中堅社員に対する意識調査」(2025年4月21日公表)である。

## ■回答者の属性 n=857

### 【所属企業の業種】

建設業：142人(16.6%)	製造業：134人(15.6%)	卸売業：106人(12.4%)	小売業：55人(6.4%)
情報通信業・情報サービス業：123人(14.4%)	運輸業：29人(3.4%)	宿泊・飲食業：6人(0.7%)	介護・看護業：4人(0.5%)
金融・保険・不動産業：17人(2.0%)	その他サービス業：117人(13.7%)	その他：124人(14.5%)	



### 【学歴】

高校卒：106人(12.4%)	高専卒：5人(0.6%)	専門学校卒：105人(12.3%)	短大卒：14人(1.6%)
大学(文系)卒：417人(48.7%)	大学(理系)卒：127人(14.8%)	大学院修了：72人(8.4%)	その他：11人(1.3%)



# 2025年度 新入社員意識調査 集計結果のポイント

## 就職先の会社でいつまで働きたいか ④ページ

- 「定年まで」が24.4%となり、10年前の2015年度調査(36.3%)と比べて11.9ポイント減少した。また、「チャンスがあれば転職」は25.7%となり、10年前の2015年度調査(11.6%)と比べて14.1ポイント増加した。
- 前年調査：2024年度調査比べて「定年まで」(21.1%⇒24.4%)3.3ポイント増加し、「チャンスがあれば転職」(26.4%⇒25.7%)0.7ポイント減少したが、2年連続「転職志向」が上回った。

## 就職先の会社を決める際に重視したこと ⑤ページ

- 「社風、職場の雰囲気(58.8%)」、「処遇面(52.7%)」、「福利厚生(44.9%)」が上位となった。
- 前年度：2024年度調査では、「処遇面(56.0%)」、「社風、職場の雰囲気 (54.3%)」、「福利厚生(45.4%)」となり、「処遇面」、「社風、職場の雰囲気」の順位が逆転した。これは、社会全体の賃上げ・各社の処遇面の改善されたことが影響したと推測される。

## 新規：入社後、管理職を目指したいと思うか ⑫ページ

- 「管理職を目指したい」と回答した人が59.0%となり、「管理職を目指したくない」41.0%を上回った。

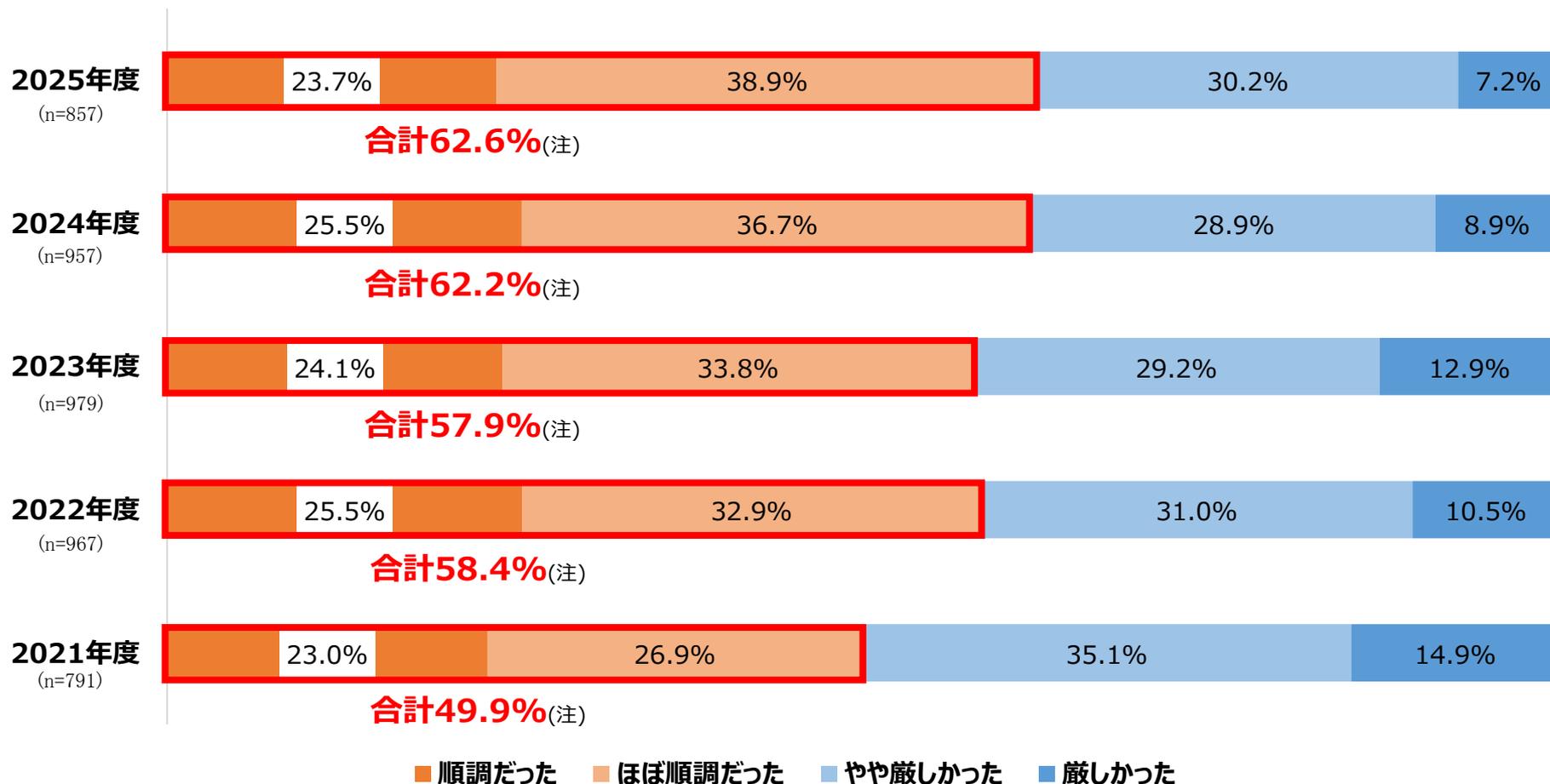
## 「理想の上司」のイメージに近い有名人・著名人 ⑬ページ

- (1)芸能界・文化人の1位 内村光良さん
- (2)スポーツ界の1位 大谷翔平さん
- (3)歴史上の人物1位 織田信長

# 就職活動が順調だったかどうか:全回答者

○「順調だった」、「ほぼ順調だった」との回答は合計で62.6%となり、コロナ禍以降（2021年～）で最も高い数値となった。 ※2020年度は本調査を行っていない。

## ■全回答者【単一回答】



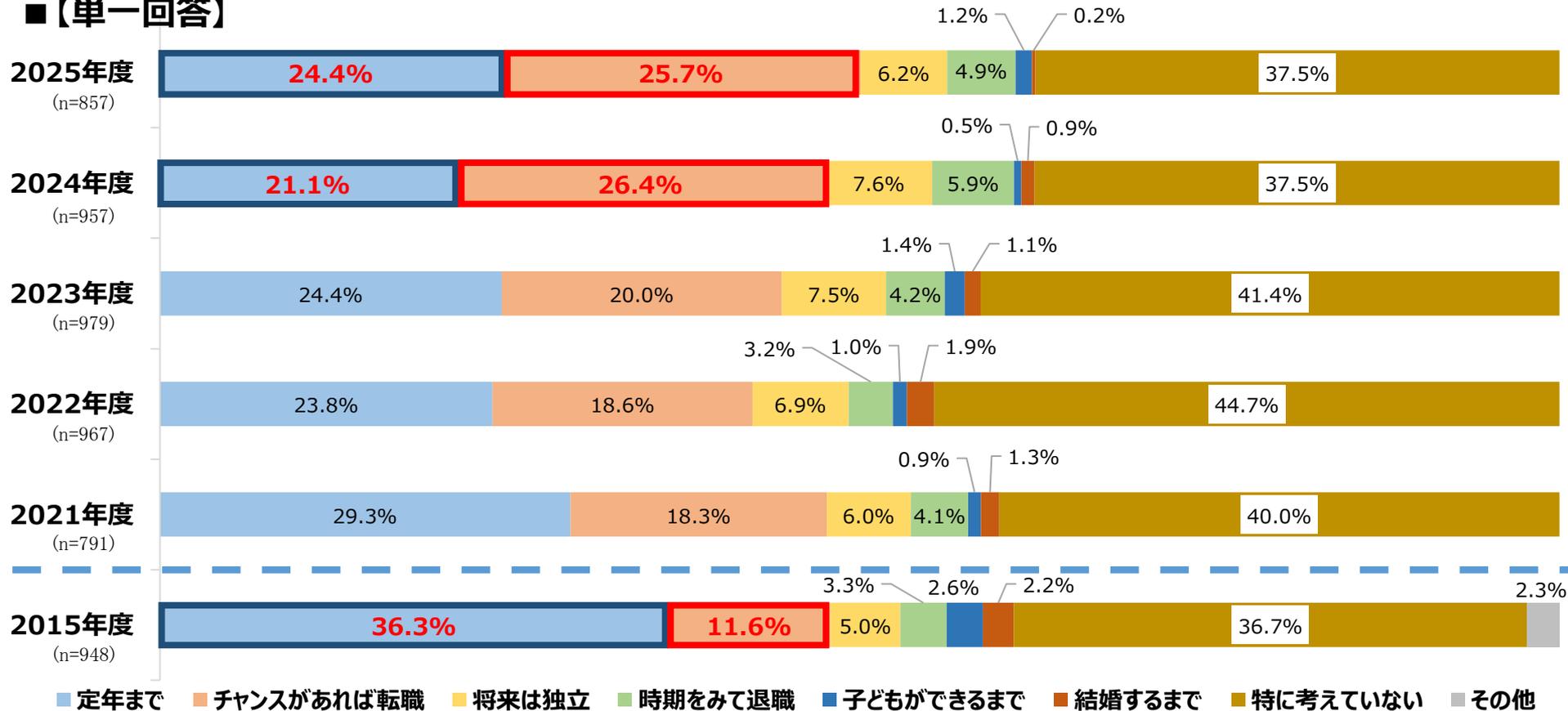
注:「順調だった」、「ほぼ順調だった」を選択したと回答者の割合の合計値。

※2020年度は本調査を行っていない。

# 就職先の会社でいつまで働きたいか

- 「定年まで」が24.4%となり、10年前の2015年度調査(36.3%)と比べて11.9ポイント減少した。また、「チャンスがあれば転職」は25.7%となり、10年前の2015年度調査(11.6%)と比べて14.1ポイント増加した。
- また、前年調査：2024年度調査と比べて「定年まで」(21.1%⇒24.4%)3.3ポイント増加し、「チャンスがあれば転職」(26.4%⇒25.7%)0.7ポイント減少したが、2年連続「転職志向」が上回った。

## ■【単一回答】

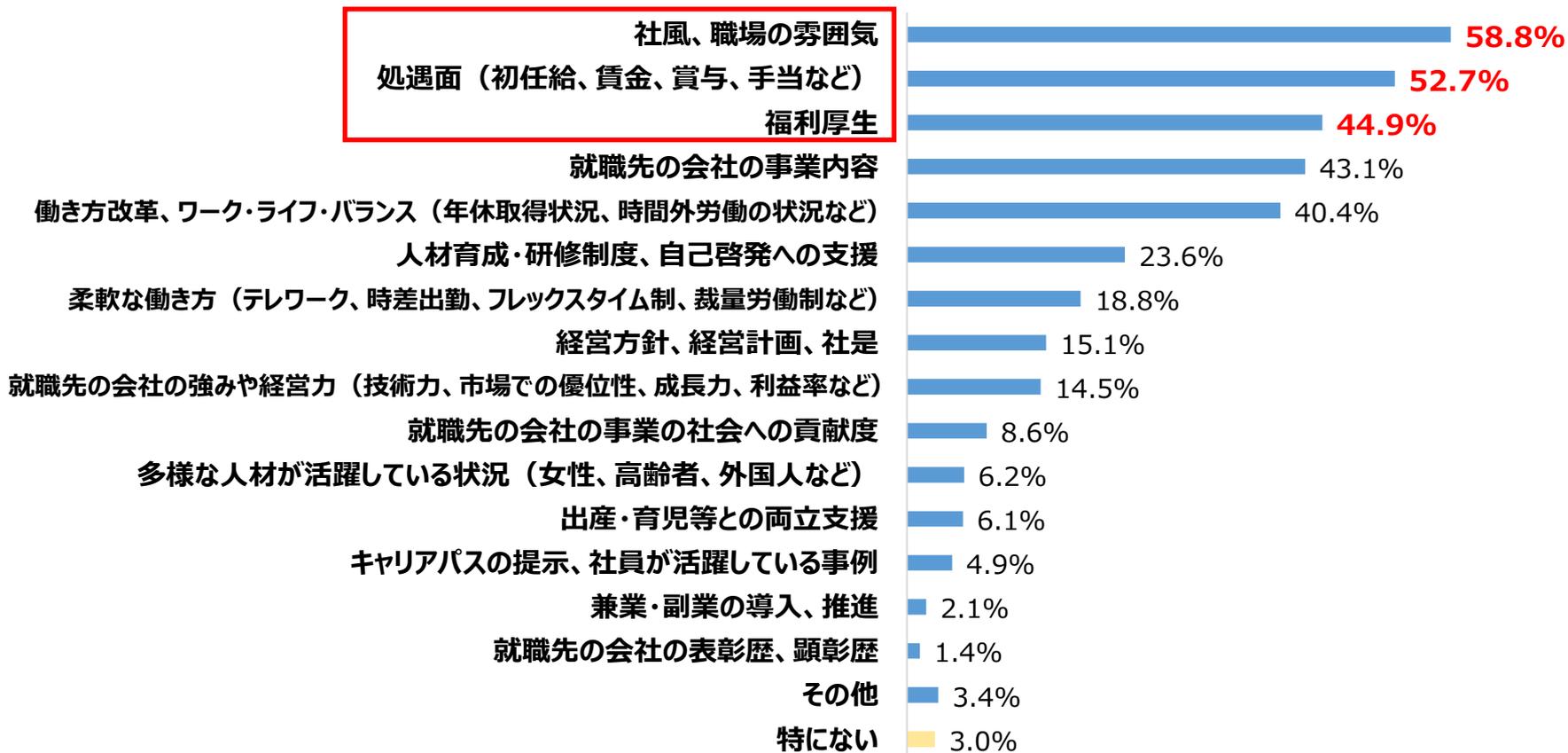


※2021年度以降の調査における本設問では、「その他」の選択肢を採用していない。 ※2015年度調査集計結果における「その他」は「無回答」を含む。

# 就職先の会社を決める際に重視したこと

- 「社風、職場の雰囲気」、「処遇面」、「福利厚生」が上位となった。
- 前年度：2024年度調査では、「処遇面(56.0%)」、「社風、職場の雰囲気(54.3%)」、「福利厚生(45.4%)」となり、「処遇面」、「社風、職場の雰囲気」の順位が逆転した。これは、社会全体の賃上げ・各社の処遇面の改善されたことが影響したと推測される。

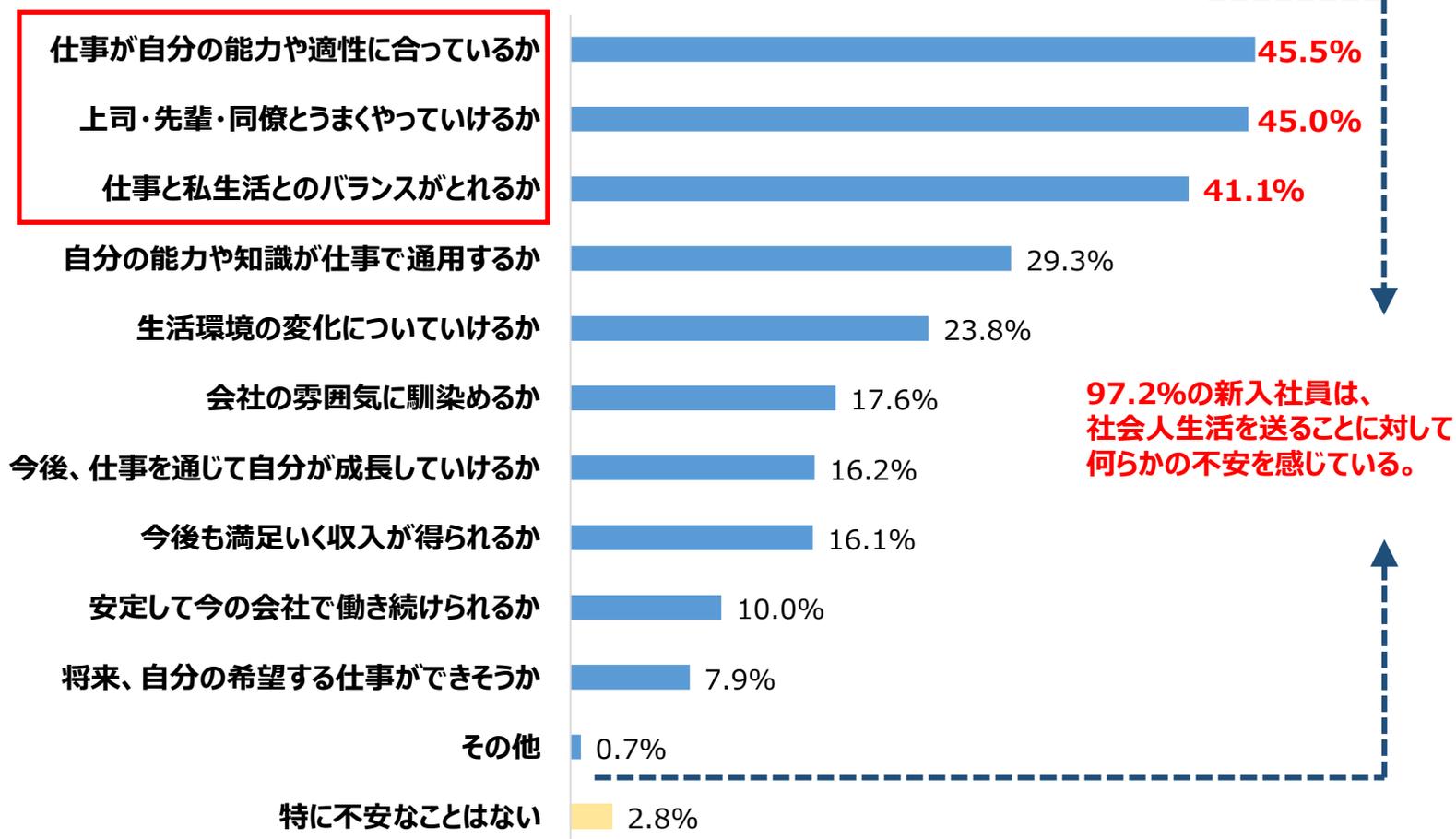
## ■【複数回答】 n=857



# 社会人生活で不安に感じること

- 「仕事が自分の能力や適性に合っているか」、「上司・先輩・同僚とうまくやطيعいけるか」、「仕事と私生活とのバランスがとれるか」が上位となった。
- 97.2%の新入社員は、社会人生活を送ることに対して何らかの不安を感じている。

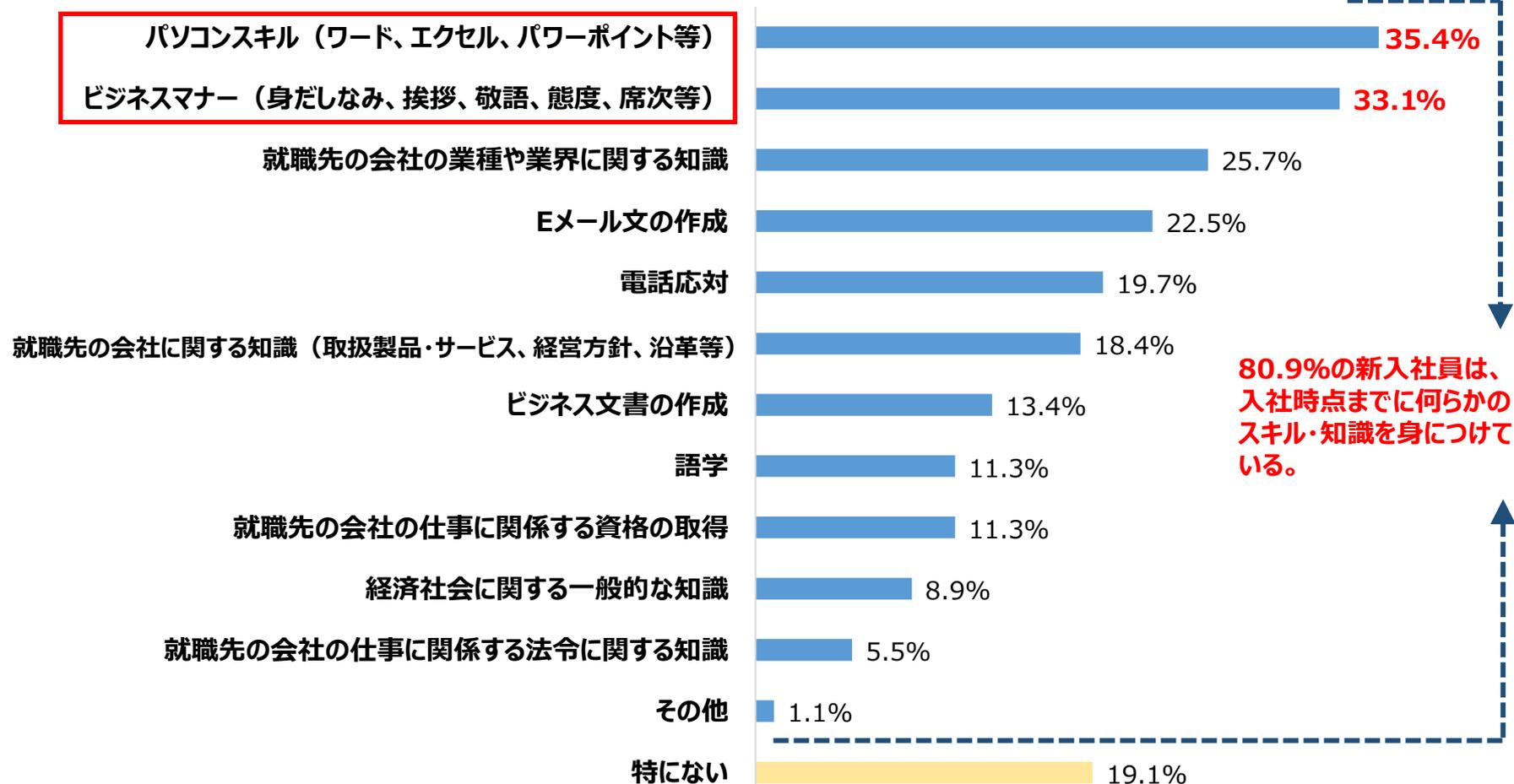
## ■【最大3つまで回答】 n=857



# 入社時点までに身につけたスキル・知識

- 「パソコンスキル」、「ビジネスマナー」が上位となった。
- 80.9%の新入社員は、入社時点までに何らかのスキル・知識を身につけている。

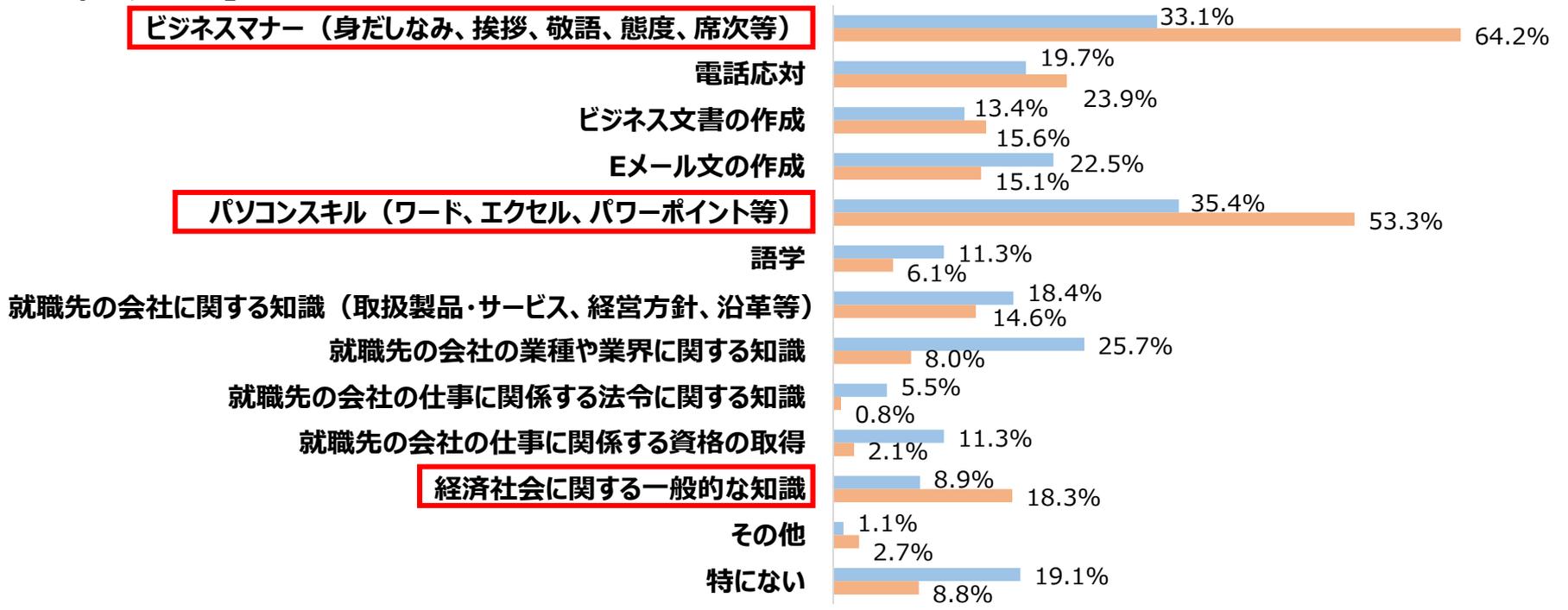
## ■【複数回答】 n=857



# 入社時点までに身につけたスキル・知識

- 企業向けに実施した調査で「新入社員が入社時点までに身につけて欲しいスキル・知識」を尋ねた結果と、本調査で新入社員に対して「入社時点までに身につけたスキル・知識」を尋ねた結果を比較すると、「**ビジネスマナー**」、「**パソコンスキル**」、「**経済社会に関する一般的な知識**」を挙げた企業の割合が、これらを挙げた新入社員の割合をそれぞれ大きく上回る。
- 企業がこうしたギャップを埋めるためには、入社前研修や新入社員研修等においてこれらの内容を取り扱い、新入社員のスキルや知識の習得を促進することが考えられる。

## ■【複数回答】

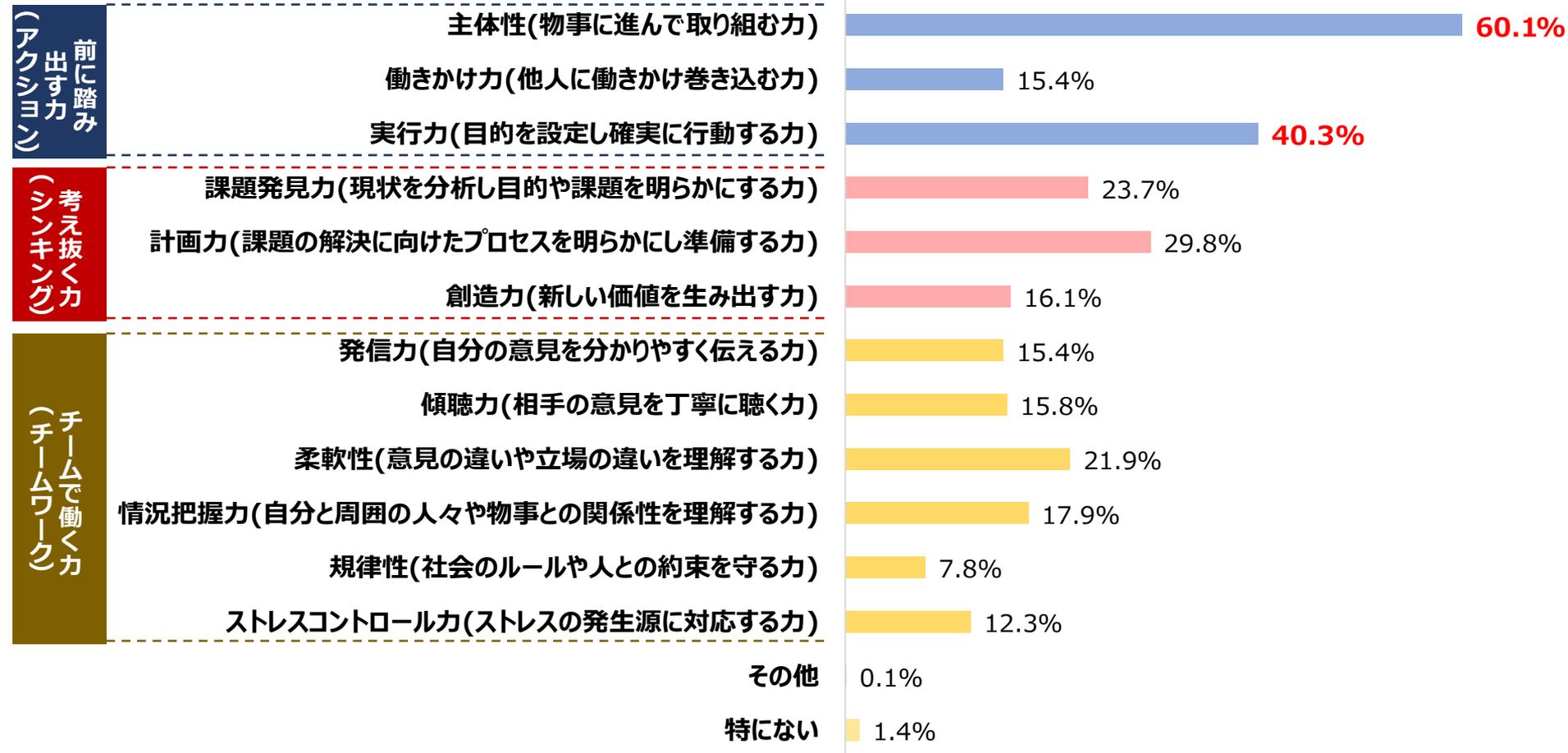


■【回答者：新入社員】入社時点までに身につけたスキル・知識 n=857  
 ■【回答者：企業】新入社員が入社時点までに身につけて欲しいスキル・知識 (対応する項目のみ抽出) n=377

# 「社会人基礎力」を構成する能力要素のうち、 仕事をする上で特に大事にしたいこと

○経済産業省が提唱している「社会人基礎力」を構成する能力要素(3つの能力、12の能力要素)のうち、仕事をする上で特に大事にしたいことを尋ねたところ、「主体性」、「実行力」を挙げる新入社員が多い。

## ■【最大3つまで回答】 n=857

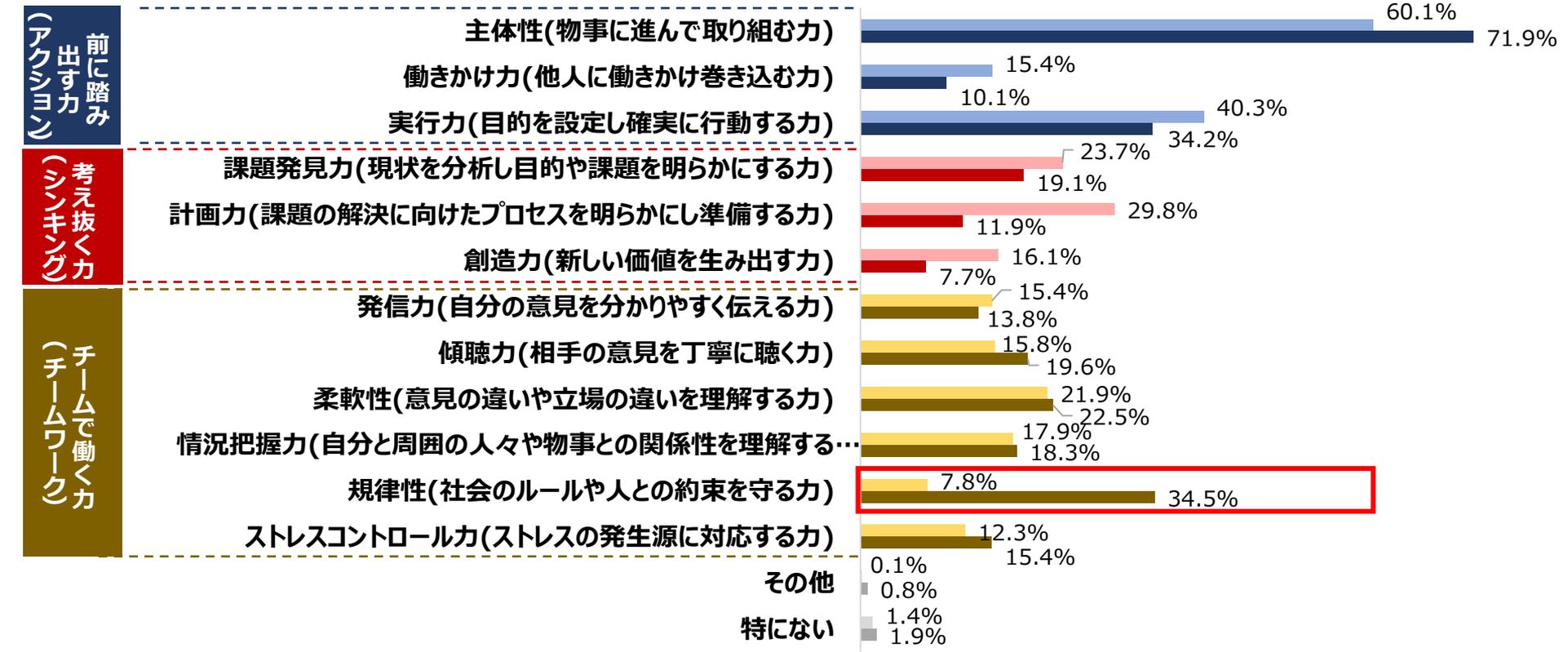


# 「社会人基礎力」を構成する能力要素のうち、 仕事をする上で特に大事にしたいこと

- 企業向けに実施した調査で「新入社員が仕事をする上で特に大事にして欲しいこと」を尋ねた結果と、本調査で新入社員に対して「仕事をする上で特に大事にしたいこと」を尋ねた結果を比較すると、「規律性」を挙げた企業の割合が、「規律性」を挙げた新入社員の割合を大きく上回る。
- 企業がこうしたギャップを埋めるためには、入社前研修や新入社員研修等において「規律性」に関する内容を取り扱い、新入社員に「規律性」の重要性に関する理解を促進することが考えられる。

## ■【最大3つまで回答】

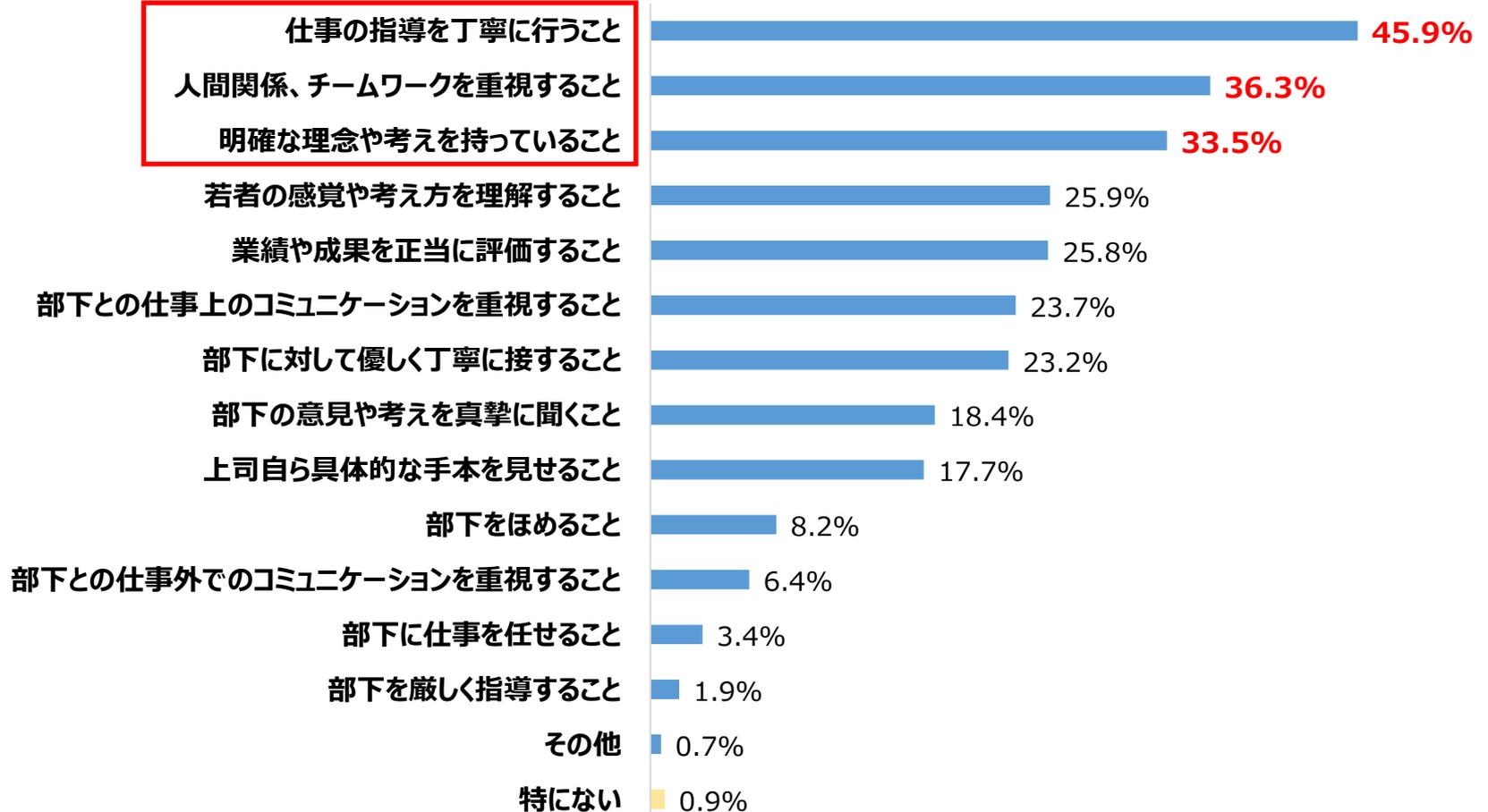
各選択肢の上段【回答者:新入社員】仕事をする上で特に大事にしたいこと n=857  
各選択肢の下段【回答者:企業】新入社員が仕事をする上で特に大事にして欲しいこと n=377



# 「理想だと思う上司」はどのようなことを大事にしたり重視する人か

○「仕事の指導を丁寧に行うこと」、「人間関係、チームワークを重視すること」、「明確な理念や考えを持っていること」が上位となった。

## ■【最大3つまで回答】 n=857



# 入社後、管理職を目指したいと思うか

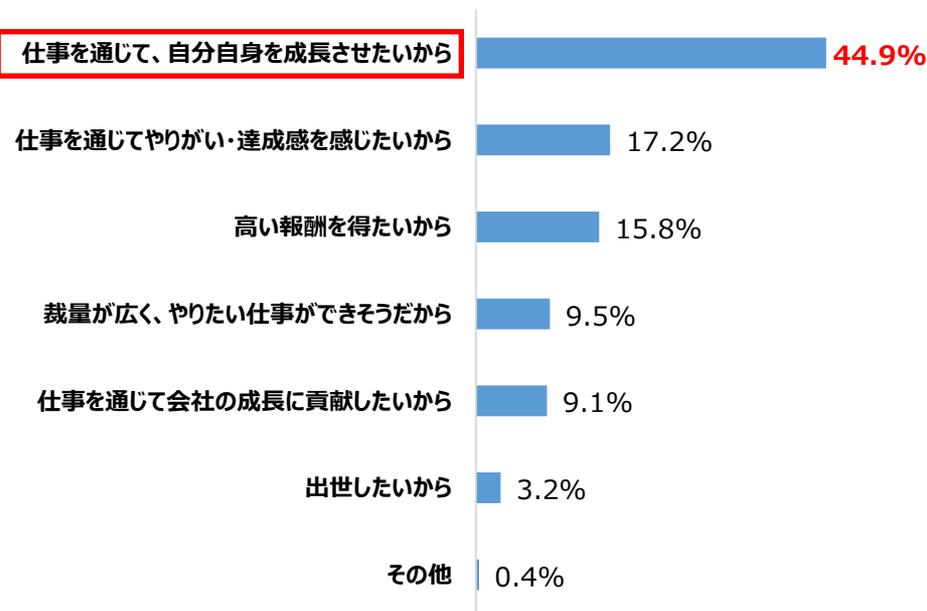
- 「管理職を目指したい」が59.0%となり、「管理職を目指したくない」41.0%を上回った。
- 管理職を目指したいと回答した理由は、「仕事を通じて、自分自身を成長させたい」が上位となった。
- 管理職を目指したくないと回答した理由は、「自分には適性がなさそうだから」が上位になった。

## ■【2択より回答】 n=857



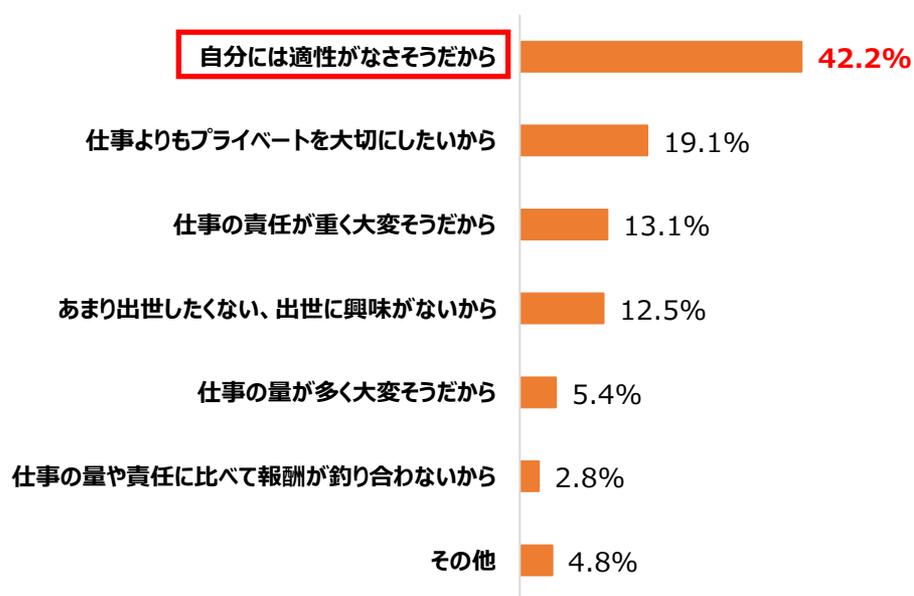
## 「目指したい」と回答した理由

### ■【単一回答】 n=506



## 「目指したくない」と回答した理由

### ■【単一回答】 n=351



# 「理想の上司」のイメージに近い有名人・著名人

○「『理想だと思う上司』はどのようなことを大事にしたり重視する人か」を踏まえ、「理想の上司」のイメージに近い有名人・著名人を(1)芸能界・文化人、(2)スポーツ界、(3)歴史上の人物からそれぞれ1名尋ねたところ、**(1)芸能界・文化人の1位は内村光良さん、(2)スポーツ界の1位は大谷翔平さん、(3)歴史上の人物の1位は織田信長**となった。

(1)芸能界・文化人【敬称略、上位10名】

	「理想の上司」のイメージに近い有名人・著名人	回答数
1位	内村光良	64
2位	水卜麻美	51
3位	明石家さんま	39
4位	天海祐希	24
5位	櫻井翔	17
6位	阿部寛	16
6位	柊太一	16
8位	志村けん	15
9位	大泉洋	14
10位	木村拓哉	13

(2)スポーツ界【敬称略、上位10名】

	「理想の上司」のイメージに近い有名人・著名人	回答数
1位	大谷翔平	268
2位	イチロー	84
3位	長友佑都	22
4位	羽生結弦	20
5位	本田圭佑	18
5位	長谷部誠	18
7位	新庄剛志	17
8位	栗山英樹	16
9位	石川祐希	11
9位	松岡修造	11

(3)歴史上の人物【敬称略、上位10名】

	「理想の上司」のイメージに近い有名人・著名人	回答数
1位	織田信長	105
2位	徳川家康	90
3位	坂本龍馬	68
4位	豊臣秀吉	45
5位	聖徳太子	33
6位	福沢諭吉	27
7位	渋沢栄一	18
8位	伊能忠敬	17
9位	マザー・テレサ	14
10位	西郷隆盛	12

※芸能界:歌手、俳優、タレント等 ※文化人:アナウンサー、キャスター、コメンテーター等

※(1)~(3)ともにn=857

※上記の集計結果は有名人・著名人の名前前の記載があった回答を集計したものである。

挑みつづける、変わらぬ意志で。

